

情 報 公 開 文 書

研究の名称	鼠径部ヘルニア術後メッシュ感染についての全国多施設共同後ろ向き研究
受付番号	392
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 外科 医師 北野悠斗
研究の概要	<p>【研究対象者】 2015年1月1日から2025年6月30日に鼠径部ヘルニア手術をメッシュで行った方、または、術後にメッシュ感染の診断や治療を受けた方を調査対象とします。</p> <p>【研究の目的】 鼠径部ヘルニア手術では、再発防止のためメッシュを用いることが標準的ですが、稀に術後に「メッシュ感染」が起こります。本研究は、全国の複数の施設から症例を収集し、発症頻度やリスク因子、治療法とその予後を明らかにすることを目的としています。</p> <p>【研究方法】 診療情報を用いた後方視的研究。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p>【研究期間】 2015年1月1日から2026年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会や学術雑誌等で公表予定。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	<p>主要評価項目：鼠径部ヘルニア術後メッシュ感染症例のうち、メッシュ除去を必要とした割合</p> <p>副次評価項目：メッシュ感染の発生頻度、初回手術の術式、初回手術からメッシュ感染と診断されるまでの期間、メッシュ感染の起炎菌、メッシュ感染に対する治療法、メッシュ感染の臨床的治癒までの期間、ヘルニア再発率</p>
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 外科 医師 北野悠斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>担当者 富山赤十字病院 外科 医師 北野悠斗 電話番号 076-433-2222 受付時間 平日 14時～16時</p>